

◇ 保護者のみなさまへ ◇

一人一人のすこやかな成長を願って



富山県では、子供たち一人一人の個性や可能性を最大限に伸ばし、生き生きと学校生活を送り、将来的に自立し社会参加をしていく力を育てるため、一人一人に応じた教育の充実を目指しています。

一人一人の教育的ニーズに応える教育と 連続性のある多様な学びの場

子供一人一人が、達成感をもって学び、その可能性を最大限に伸ばし、自立と社会参加に必要な力を培うために、個別の教育的ニーズに最も確に応える指導を提供できる連続性のある多様な学びの場を用意しています。

見えなかったり、見えにくかったりする子供のために

学びの場 特別支援学校（視覚障害）、弱視特別支援学級、特別支援学校（視覚障害）での通級による指導

幼児期から、感覚の活用や歩行技術の習得を目指すとともに、点字や拡大文字等を使い一人一人の見え方に合わせた教育を行っています。特別支援学校高等部では、はり、きゅう、マッサージなどの職業教育も行っています。



身の回りの音や話し言葉が聞こえにくかったり、ほとんど聞こえなかったりする子供のために

学びの場 特別支援学校（聴覚障害）、難聴特別支援学級、特別支援学校（聴覚障害）での通級による指導

早期からの教育を重視し、幼児期から補聴器を活用して言語の習得を促したり、発達の段階に応じて手話等を活用したりするなど、一人一人の聞こえの状態に合わせた教育を行っています。



知的発達に遅れが見られ、社会生活への適応が難しい子供のために

学びの場 特別支援学校（知的障害）、知的障害特別支援学級

一人一人の発達の状態や社会性などを把握した上で、実際の体験を重視しながら、基本的な生活習慣の確立や社会生活に必要な知識、技能及び態度等を養う教育を行っています。



脳性まひ、骨関節疾患など、四肢や体感に 運動機能障害のある子供のために

学びの場 特別支援学校（肢体不自由）、肢体不自由特別支援学級、通級による指導

一人一人の障害の状態に応じて、適切な教材教具を用いるとともに、情報機器などを有効に活用して指導の効果を高めながら、動作、感覚、言語等の学習を重視した教育を行っています。



慢性疾患のため継続して医療または生活制限を必要とする子供のために

学びの場 特別支援学校（病弱）、病弱・身体虚弱特別支援学級、通級による指導

医療機関と密接な連携を取りながら、身体面・精神面の健康維持や改善を図り、一人一人の状態に応じた教育を行っています。病院で入院している子供のために病院内に病弱・身体虚弱特別支援学級（院内学級）があり、病状に合わせた教育を行っています。



発音の誤りなどのために分かりにくい話し言葉になっていたり、言葉の発達に遅れがあったりする子供のために

学びの場 言語障害特別支援学級、通級による指導

子供の興味・関心のある会話や遊び等を通して、子供の気持ちをほぐしながら、聞き取りや発声・発音の練習をするなどの工夫をした教育を行っています。



自閉症などと心因性の選択制かん黙などの子供のために

学びの場 自閉症・情緒障害特別支援学級、通級による指導

対人関係の形成や生活に必要なルール、心理的安定や集団参加等、社会性を育む教育を行っています。



学習障害（LD）、注意欠陥多動性障害（ADHD）やその傾向のある子供のために

学びの場 通級による指導

一人一人の学び方の特性に合わせた学習方法や環境を工夫をしたり、社会生活上のスキルを身に付けるための指導を取り入れたりするなど、苦手な部分を克服し、自分でやり遂げた経験を積み、自信をつけることを重視した教育を行っています。



障害の状態が重度、または重複しているため、学校へ通学して教育を受けることが困難な子供のために

学びの場 特別支援学校の訪問教育

教員が家庭や施設、病院等を訪問して教育を行っています。



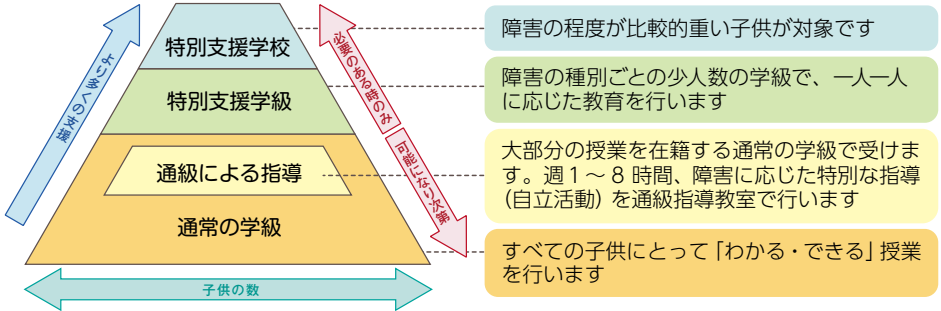


学びの場は柔軟に見直すことができます



就学時に決定した「学びの場」は、その後も固定されるものではありません。

子供一人一人の発達の様子、学習や生活の適応の様子、各教科等の学習の様子、自立活動の指導の様子、交流及び共同学習の様子について検討し、学校や学びの場の変更が可能です。



★ お子さんの教育的ニーズに応える指導を提供できる学びの場を選ぶことが大切です。

～共に学ぶ～ 交流及び共同学習

障害のある子供にとっても、ない子供にとっても経験を深め、社会性を養い、豊かな人間性を育てるとともに、尊重し合う大切さを学ぶ機会となります。

小中学校等

特別支援学級に在籍する子供の実態に応じて、教科等の学習や学級活動、清掃・給食等を通常の学級で行う日常的な交流を行っています。

特別支援学校

授業の一環として、子供が自分の住んでいる地域の小中学校等の学校行事や一部の教科等の学習に参加する「居住地校交流」や、近隣の小中学校等と行事やクラブ活動を合同で行ったり、手紙や作品を交換したりする「学校間交流」を行っています。

一人一人の教育的ニーズに応じた支援を行うために



まず、教育的ニーズを捉え、

- ・ 子供の困難や障害の状態はどうか
 - ・ 困難や障害によってどのような特別な指導が必要か
 - ・ 指導を行うに当たってどのような支援や配慮が必要か
- といった観点から整理します。

「個別の教育支援計画」を作成して活用します

連携して支援するために…

切れ目なく支援するために…

- 本人や保護者の同意を得て、
- ・ 子供に関わる者が支援の目標や内容を共有して効果的に支援する。
 - ・ 進級、進学先に引き継いでいく。

つぎに、支援の目標や計画を立てます

- ・ 子供や保護者の願い、困っていること、これまでに受けてきた支援、将来どんな姿を目指すのかなど情報を交換し、話し合います。
- ・ 子供や保護者の願いを踏まえて支援の目標や必要と思われる支援を学校が考え、子供と保護者と共有します。
- ・ 学校生活を通して十分な教育が受けられるようにするために、必要で適当と考えられる変更や調整を保護者と話し合いながら考えます。(合理的配慮)



お子さんにこんな様子が見られませんか？ご家庭で悩んでいますか？

漢字を書いたり、
読んだりすることが
すごく苦手…



学校からの大切な連絡や
友達との約束を
すぐに忘れてしまう…



叱ったときは
「ごめんなさい」と
素直にあやまるのに、
すぐに同じ失敗を
してしまう…



整理整頓がうまくできず、
すぐにプリントや文房具を
なくしてしまう…



ゲームに
負けると、かーっと
なってしまう…



ちょっとしたことで、
すぐに興奮して大きな声
を出してしまう…

家庭でもっと見てくださいと
言われるけれど、どうすれば
いいの？

中学校へ行って、
うちの子大丈夫かしら…



思い通りに子育てができず、
つい怒鳴りつけてしまう…

中学校や高校への進学に
ついて、だれか相談でき
る人はいないかしら…

お子さんもきっと困っています

- 「何でできないの」と、責める前に、原因を考えてみませんか。
- 子供のつまずきは同じようでも、その原因は一人一人違います。
- 本人の努力だけではうまくいかない場合があり、失敗を繰り返すと、反抗的な態度をとったり、無気力になったりします。



子育てワンポイントアドバイス！

- 子供の得意なこと、苦手なことを理解しましょう。
- 本人なりのがんばりを認め、自信をもたせるようにしましょう。
- どうしたらよいか、子供にとって分かりやすい環境を整えてあげましょう。
- 子供の困った気持ちを言葉にしてあげましょう。
例)「うまく言えなくてイライラしたね」



一人で悩まず、まずは学校に相談してください。

子育てや教育について困ったとき、地区相談会でも気軽に相談ができます。

地区相談会

教育、保健、福祉の専門家が相談をお受けします。
まずは、お住まいの市町村の教育委員会にお申し込みください。
学校を通じて申し込むこともできます。
富山県総合教育センターのホームページでも詳しくご覧になれます。
<http://center.tym.ed.jp/>

地区相談会お問い合わせ先		舟橋村教育委員会	(076)464-1121
朝日町教育委員会	(0765)83-1100	富山市教育委員会	(076)443-2135
入善町教育委員会	(0765)72-3854	射水市教育委員会	(0766)51-6635
黒部市教育委員会	(0765)54-2701	高岡市教育委員会	(0766)20-1472
魚津市教育委員会	(0765)23-1044	氷見市教育委員会	(0766)74-8213
滑川市教育委員会	(076)475-2111	小矢部市教育委員会	(0766)53-5861
上市町教育委員会	(076)472-1111	砺波市教育委員会	(0763)33-1508
立山町教育委員会	(076)462-9981	南砺市教育委員会	(0763)23-2012

*「にこにこ相談会」や「さわやか相談会」としている地域もあります。

地区相談会を利用した方々の感想より

▶ 思い切って地区相談会に行ってみました。話を聞いてもらってとても気持ちが悪くなり、子育てを頑張ろうという気持ちになりました。



▶ 初めは緊張しましたが、子供がすぐにかんしゃくを起こす原因が分かり、対応についても教えてもらい毎日実行しています。



▶ 担任の先生と一緒に相談に行きました。勉強もいろいろな方法があるんですね。今では、宿題も苦にならなくなりました。



心配な様子が続く場合は、専門の教育相談担当者に相談することができます。

富山県総合教育センター 教育相談部
特別支援教育担当 TEL076-444-6351

東部教育事務所 TEL076-444-4569
西部教育事務所 TEL0766-26-8461

お子さんの生き生きとした学校生活を支えることができるよう、
一緒に考えていきましょう！

富山県教育委員会 県立学校課 特別支援教育班 TEL 076-444-3451

2022年 11月